

## 食品安全委員会（第803回会合）議事概要

日時：令和3年1月19日（火） 14：00～15：33

場所：食品安全委員会大会議室

出席者：佐藤委員長外3名出席

動画配信：報道0名、一般15名

### （1）食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

#### ・ 遺伝子組換え食品等2品目

線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ  
阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（食品）

収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DP202216)  
（食品）

→厚生労働省から説明。

本件について、遺伝子組換え食品等専門調査会で審議することとなった。

#### ・ 遺伝子組換え食品等2品目

線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ  
阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（飼料）

収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DP202216)  
（飼料）

→農林水産省から説明。

本件について、遺伝子組換え食品等専門調査会で審議することとなった。

### （2）動物用医薬品専門調査会における審議結果について

#### ・ 「イソオイゲノール」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→副担当の山本委員及び事務局から説明。

取りまとめられた評価書案について、意見・情報の募集手続に入ることとし、得られた意見・情報の整理、回答案の作成及び評価書案への反映を動物用医薬品専門調査会に依頼することとなった。

### （3）遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

#### ・ 「*Komagataella pastoris* 132株を利用して生産されたフィターゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当の川西委員及び事務局から説明。

取りまとめられた評価書案について、意見・情報の募集手続に入ることとし、得られた意見・情報の整理、回答案の作成及び評価書案への反映を遺伝子組換え食品等専門調査会に依頼することとなった。

(4) 肥料・飼料等専門調査会における審議結果について

- ・「カンタキサンチン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について
- ・「トリメトプリム」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について
- ・「ピランテル及びモランテル」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当の山本委員及び事務局から説明。

取りまとめられた評価書案について、意見・情報の募集手続に入ることとし、得られた意見・情報の整理、回答案の作成及び評価書案への反映を肥料・飼料等専門調査会に依頼することとなった。

(5) 菌末を原材料として使用する調製粉乳に関するワーキンググループにおける審議結果について

- ・「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に基づく調製粉乳の審査事項の設定」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当の山本委員及び事務局から説明。

取りまとめられた評価書案について、意見・情報の募集手続に入ることとし、得られた意見・情報の整理、回答案の作成及び評価書案への反映を菌末を原材料として使用する調製粉乳に関するワーキンググループに依頼することとなった

(6) 食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見について

- ・動物用医薬品「デコキネート」に係る食品健康影響評価について
- ・動物用医薬品「バージニアマイシン」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明。

本件について、動物用医薬品専門調査会におけるものと同じ結論、デコキネート及びバージニアマイシンは、いずれも「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の(1)に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。

との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）に通知することとなった。

- ・遺伝子組換え食品等「EVG-L1株およびEVG-G1株を利用して生産されたグルタミルバリングリシン」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明

本件について、遺伝子組換え食品等専門調査会におけるものと同じ結論、

「EVG-L1株およびEVG-G1株を利用して生産されたグルタミンバリングリシン」については、「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」に基づき、安全性が確認されたと判断し、本添加物については、「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」による評価は必要ないと判断した。」

との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）に通知することとなった。

- ・ 遺伝子組換え食品等「ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-00X17-5(食品)」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明

本件について、遺伝子組換え食品等専門調査会におけるものと同じ結論、

「ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモ SPS-00X17-5」については、「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断した。

なお、本系統は、宿主の代謝系が改変され、特定の成分の含量を変化させる形質が付与されていることから、SPS-00X17-5 を用いて開発した品種は、安全性評価が必要である。」

との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）に通知することとなった。

- ・ 遺伝子組換え食品等「ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-00X17-5(飼料)」に係る食品健康影響評価について

→担当の川西委員及び事務局から説明

本件について、意見・情報の募集は行わないこととし、遺伝子組換え食品等専門調査会におけるものと同じ結論、

「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき審議した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はないと判断した。」

との審議結果が了承され、リスク管理機関（農林水産省）に通知することとなった。

- ・ 遺伝子組換え食品等「ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-000Z6-5(食品)」に係る食品健康影響評価について

→事務局から説明

本件について、遺伝子組換え食品等専門調査会におけるものと同じ結論、

「ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-000Z6-5」については、「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断した。

なお、本系統は、宿主の代謝系が改変され、特定の成分の含量を変化させる形質が付与されていることから、SPS-000Z6-5を用いて開発した品種は、安全性評価が必要である。」

との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）に通知することとなった。

- ・ 遺伝子組換え食品等「ジャガイモ疫病抵抗性、低遊離アスパラギン、低還元糖及び低ポリフェノール酸化酵素ジャガイモSPS-000Z6-5(飼料)」に係る食品健康影響評価について

→担当の川西委員及び事務局から説明

本件について、意見・情報の募集は行わないこととし、遺伝子組換え食品等専門調査会におけるものと同じ結論、

「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき審議した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はないと判断した。」

との審議結果が了承され、リスク管理機関（農林水産省）に通知することとなった。